

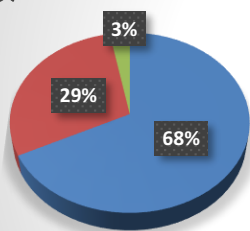
第三期 日吉津村
子ども・子育て支援事業計画
二一ス調査結果

令和7年4月
日吉津村

Ⅰ. あなたのご家族の状況について

■問Ⅰ-Ⅰ お子さんの人数

お子さんの人数

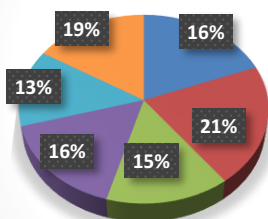


■ 1人(46) ■ 2人(20) ■ 3人(2)

就学前までのお子さんの人数は、1人が68%、2人が29%、3人が3%となっており、就学前のお子さんを同時に子育てしておられる家庭が全体の32%となりました。

■問Ⅰ-Ⅱ 子どもの年齢

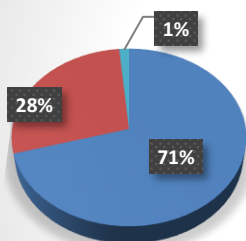
子どもの年齢



■ 5歳児:13人 ■ 4歳児:14人
■ 3歳児:10人 ■ 2歳児:11人
■ 1歳児:9人 ■ 0歳児:11人

■問Ⅰ-Ⅲ この調査の回答者

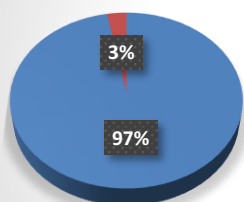
調査の回答者



■ 母親(48) ■ 父親(19) ■ 祖母(0)
■ 祖父(0) ■ その他(1)

■問Ⅰ-Ⅳ 配偶者の有無

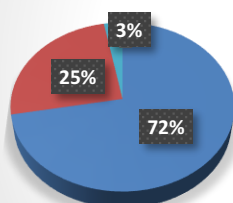
配偶者の有無



■ 1. 配偶者がいる(66) ■ 2. 配偶者はいない(2)

■問Ⅰ-Ⅴ お子さんの子育てを主に行っている方

お子さんの子育てを主に行っている方

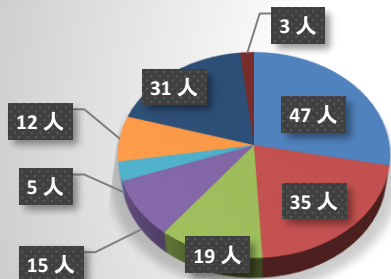


■ 父母ともに(49) ■ 主に母(17)
■ 主に父(0) ■ 主に祖父母(0)
■ その他(2)

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

※複数選択

子育てに日常的に関わっている方(施設)

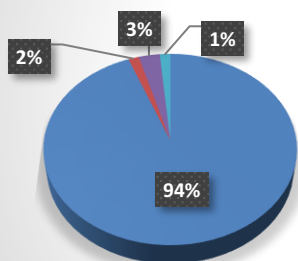


- 1. 母親(47)
- 2. 父親(35)
- 3. 祖母(19)
- 4. 祖父(15)
- 5. 幼稚園(5)
- 6. 保育所(12)
- 7. 認定こども園(31)
- 8. その他(3)

保護者による子育てが82人と最も多い一方で、教育・保育施設も48人の回答があり、施設も子育てに大きく関わっていると考えている方が多くいます。

■問2-2 お子さんの子育て(教育)に最も影響すると思われる環境

お子さんの子育てに最も影響すると思われる環境

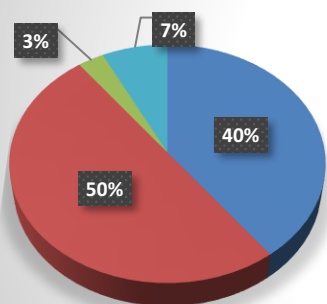


- 家庭(64)
- 地域(1)
- 幼稚園(0)
- 保育所(2)
- 認定こども園(1)
- その他(0)

子育ての影響力が高いのは家庭であると考えての方が94%と圧倒的に多くなっています。

■問2-3 日頃お子さんを見てもらえる方

日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人

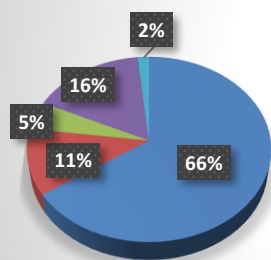


- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる(27)
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる(34)
- 3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる(2)
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる(0)
- 5. いずれもない(5)

約90%の方が、祖父母等に見てもらえる状況ですが、7%は預け先がない状況があります。

■問2-3（1）祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

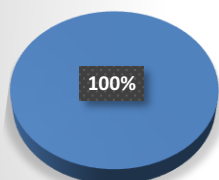


- 1. 安心して子どもをみてもらえる(40)
- 2. 身体的負担が大きく心配である(7)
- 3. 時間的制約や精神的負担が大きく心配である(3)
- 4. 親の立場として負担をかけていることが心苦しい(10)
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境かどうか、少し不安がある(1)

約66%は安心して見てもらえる状況ですが、約32%は心労を感ずる状況にあります。

■問2-3（2）友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

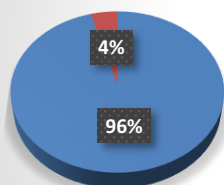
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況



- 1. 安心して子どもをみてもらえる(1)
- 2. 身体的負担が大きく心配である(0)
- 3. 時間的制約や精神的負担が大きく心配である(0)
- 4. 親の立場として負担をかけていることが心苦しい(0)
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境かどうか、少し不安がある(0)

■問2-4 子育て（教育）をする上で気軽に相談できる人（場所）

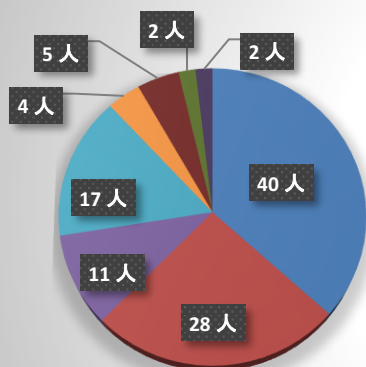
子育てをする上で気軽に相談できる人（場所）



■ いる / ある(65) ■ いない / ない(3)

■問2-4（1）子育て（教育）に関して、気軽に相談できる人（場所） ※複数選択

子育て（教育）に関する相談先



- 祖父母等の親族(40)
- 友人や知人(28)
- 近所の人(0)
- 子育て支援施設（子育て支援センター・児童館等）・NPO(11)
- 保育士(17)
- 幼稚園教諭(4)
- 民生委員・児童委員(0)
- かかりつけの医師(5)

相談先が親族・友人と回答した人が68人、施設関係者へ相談できる人は11人あり、相談先に困る人は少ない結果となりました。

■問2-5 子育て（教育）をする上で周囲（身近な人、行政担当者等）からどのようなサポートがあれば良いか

- ・習い事などを保育園で取り入れてもらえると嬉しい。
- ・病児保育の場所を増やしてほしい。
- ・何かあった時に相談にのったり、預かってくれる。
- ・教育支援金（英会話等のスキル）、室内遊具
- ・保育所
- ・ワンオペの負担が減るサポート
- ・遊び場所の提供
- ・病児保育
- ・金銭面での援助、土日也能える遊び場のような場所
- ・短時間でも子供の面倒を見てもらえる
- ・病児保育を利用できる場を作ってもらいたい。また、利用料の補助をしてもらいたい。
- ・行政による病児保育の場があると助かる。
- ・見守り
- ・父親の家事、育児参加への啓発
- ・金銭的な負担の軽減
- ・病児保育施設がもう少し増えるとありがたいです。
- ・ちょっとでも預かってもらえる
- ・保育士の人数の拡大
- ・困ったときにすぐに対応してもらえる状況を作って欲しい
- ・相談窓口がどこにあるのか分かりやすく相談しやすい環境にしてほしい。困った時にここに相談すればいいんだとすぐわかれば心強いから。
- ・お金の関係

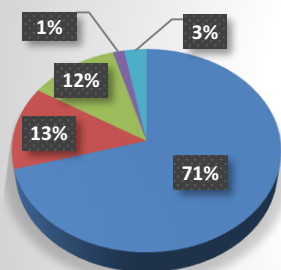
■問2-5（1）子育て（教育）をする上現在困っていること

- ・子どもが病気の時になかなか休めれない
- ・今はないが、小学校に進学した時に仕事との両立に不安がある。
- ・子の習い事の送迎
- ・家事と育児のバランス
- ・経済的不安
- ・温暖化により、公園に行く選択肢がない。
- ・言葉使い、叩く等
- ・平日仕事、土日夫が常に仕事でワンオペ過ぎて自分の事が出来ない。
- ・病気のため大勢の人がいるところに連れて行きづらい
- ・生活の為に働いているがその分子どもとの時間が減ってしまうこと
- ・自宅保育では保育園に通うよりはいはいやお座りが遅いと感じる
- ・ご飯をなかなか食べてくれない
- ・病児保育を利用できる場を作ってもらいたい。また、利用料の補助をしてもらいたい。
- ・子供、親が体調不良の際、家庭・仕事と子育ての両立が難しい。
- ・子どもに関することはほぼ母だけで対応しているため、時間がない
- ・3歳のイヤイヤ期に付き合えない時がある。
- ・上の兄弟の勉強をみる時間がない
- ・子どもを預ってもらっている時間が短いこと
- ・病児保育として利用できる施設がない
- ・上の子供と下の子供が5歳離れているので同じことを同じようにするのが難しいこと。
- ・教育費

3. お子さんの保護者の就労状況について

■問3-1 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

保護者の現在の就労状況
（自営業、家族従事者含む）

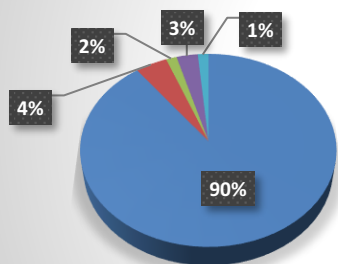


- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない(48)
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である(9)
- 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない(8)
- 4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休暇中である(1)
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない(2)
- 6. これまで就労したことがない(0)

休暇中ではあるものの、約84%の人がフルタイム就労しています。就労経験がない方は0%であり、現在は就労家庭が多い現状となっています。

■問3-1（1）「1週当たりの就労日数」1日当たりの「就労時間」

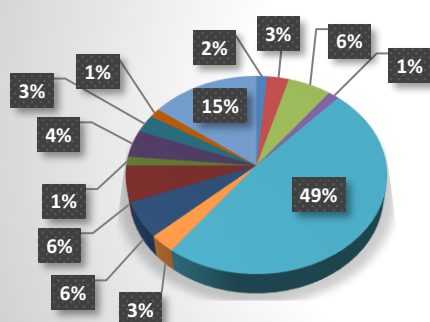
1週当たり就労日数



- 5日:61人
- 4日:3人
- 3日:1人
- 未就労:2人
- 育児休暇中:1人

1週当たりの就労日数はフル・パート関係なく5日の方が大半を占めています。

1日あたり就労時間

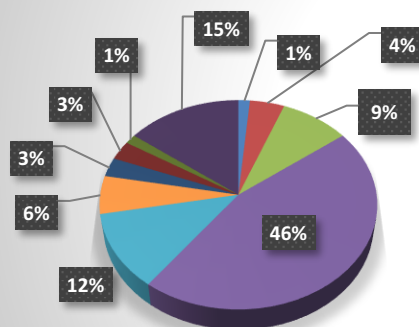


- 15h:1人
- 9h:4人
- 8h:33人
- 7h:4人
- 5h:1人
- 未就労:2人
- 未記入:10人
- 10h:2人
- 8.5h:1人
- 7.75h:2人
- 6h:4人
- 4h:3人
- 育児休暇中:1人

フルタイムでは8h勤務の割合が最も高く、15hという方もおられました。パートの方は全員が6h以下の勤務時間でした。

■問3-1 (2) 家を出る時刻と帰宅時刻

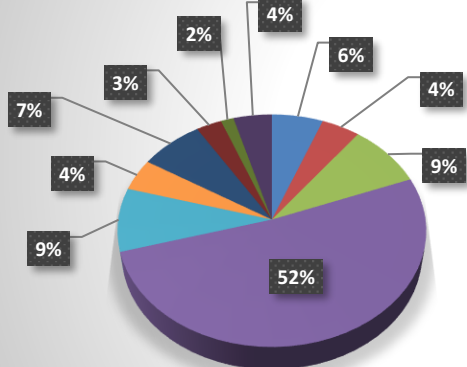
家を出る時刻



- 6:30~6:59(1)
- 7:00~7:29(3)
- 7:30~7:59(6)
- 8:00~8:29(31)
- 8:30~8:59(8)
- 9:00~9:29(4)
- 9:30~(2)
- 就労なし(2)
- 育児休暇中(1)
- 未回答(10)

8:00~8:29が46%と多く、その多くはフルタイムの方でした。一方で出勤時間が遅い人はパートの方でした。

帰宅時刻

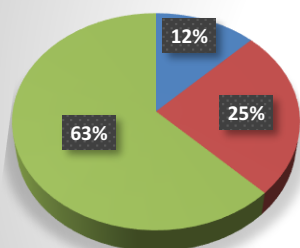


- 15:00~15:59(4)
- 16:00~16:59(3)
- 17:00~17:59(6)
- 18:00~18:29(35)
- 18:30~18:59(6)
- 19:00~19:59(3)
- 20:00~(5)
- 就労なし(2)
- 育児休暇中(1)
- 未回答(3)

18:30までに帰宅する方が約71%あり、保育施設の降園時間内に迎えに来ることができています。遅い人は23:00の方もおられました。

■問3-2 フルタイムへの転職希望

フルタイムへの転職希望

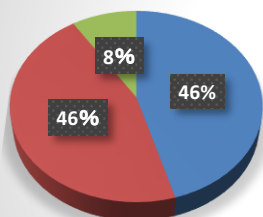


- 1. フルタイム(5日/週 8時間/日)への転換希望があり、実現できる見込みがある(1)
- 2. フルタイム(5日/週 8時間/日)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない(2)
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望(5)
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい(0)

フルタイム以外の人のうち約88%はフルタイムへの転職希望があり、就労意欲の高さが伺えます。

■問3-3 就労希望

就労希望



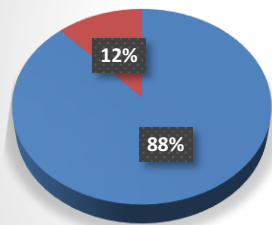
- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)(5)
- 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい(5)
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(1)

就労希望者のうち、設問2の就労希望時期は子が1歳の時が40%と最も高く、2歳、3歳、5歳の時の希望はそれぞれ20%でした。

4. お子さんの定期的な教育・保育の利用状況について

■問4-1 お子さんの現在の幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用

定期的な教育・保育事業の利用について



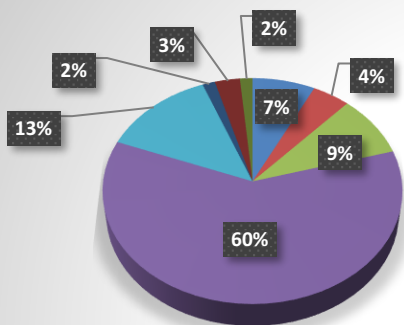
■ 1. 利用している(60)

■ 2. 利用していない(8)

回答者のうち、88%が定期的な教育・保育事業を利用されており、就労状況の高さが同え、また各施設が子育て支援に重要な役割を果たしていると言えます。

■問4-1 (1) 平日に利用している教育・保育事業

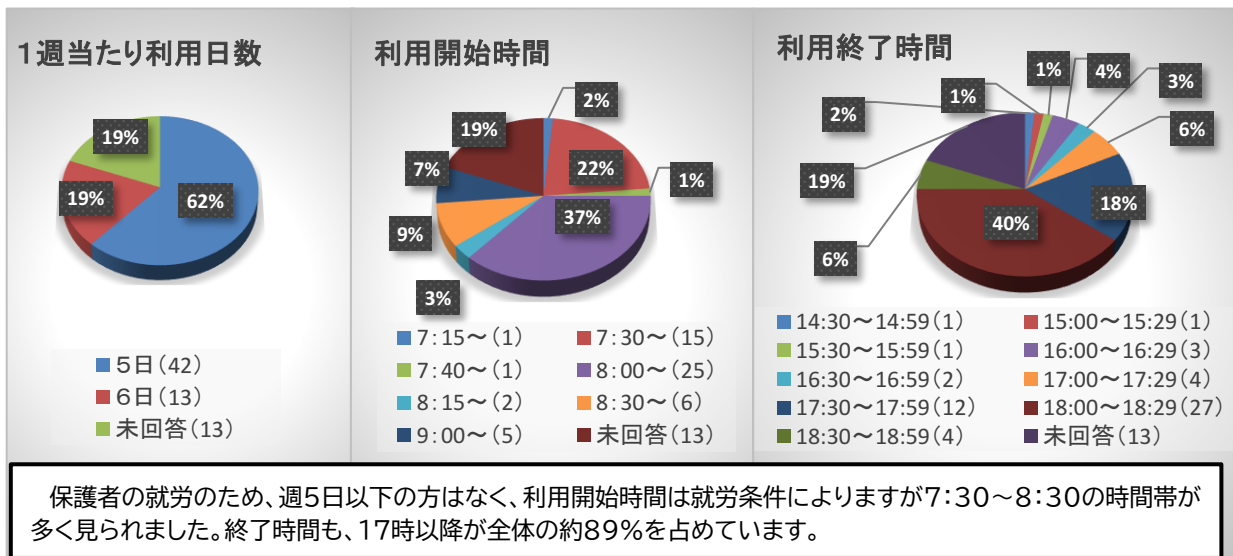
平日に利用している教育・保育事業



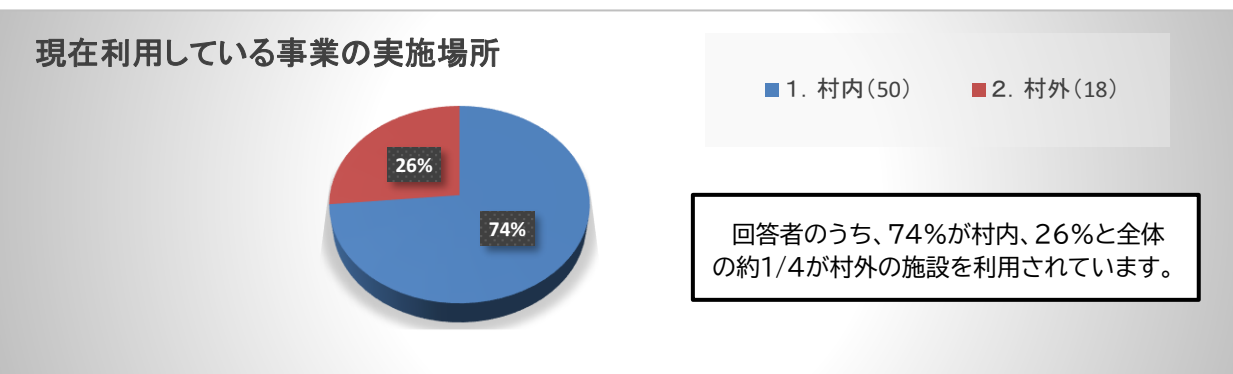
回答者の全員が幼稚園や認定こども園などの保育施設を利用しています。居宅訪問型保育や、ファミリー・サポート・センターの利用回答はなく、保護者の就労等の理由により施設を利用されているものと推察します。幼稚園利用者のうち、6割の方は預かり保育も利用されています。

- 1. 幼稚園(通常の就園時間利用)(5)
- 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)(3)
- 3. 認可保育所(国の基準に適合し、県の認可を受けた定員20人以上のもの)(6)
- 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つもの)(41)
- 5. 小規模保育施設(国の基準に適合し、市町村の認可を受けた定員19人以下のもの)(9)
- 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)(0)
- 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)(1)
- 8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所以外の自治体が認証・認定した施設)(2)
- 9. その他の認可外の保育施設(1)
- 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)(0)
- 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)(0)
- 12. 企業主導型保育園(0)
- 13. その他(0)

■問４－Ⅰ（２）現在の利用状況と利用希望

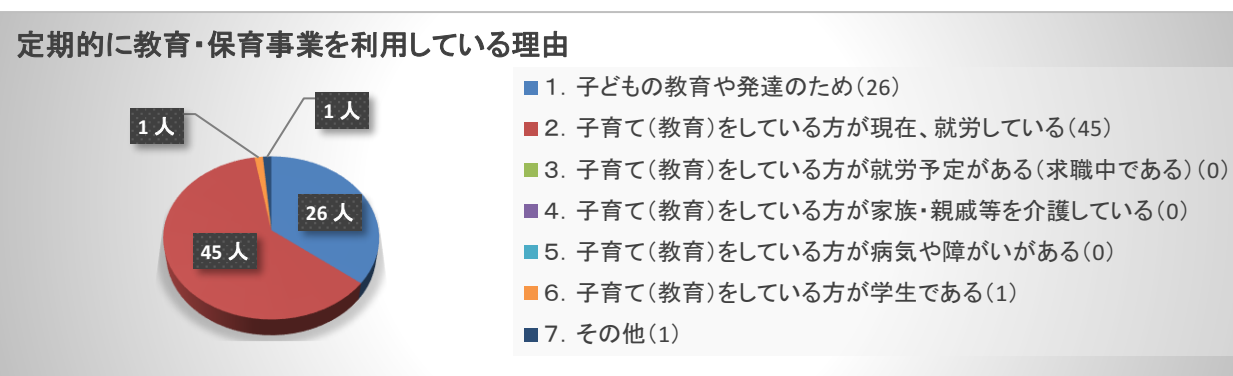


■問４－Ⅰ（３）現在利用している事業の実施場所



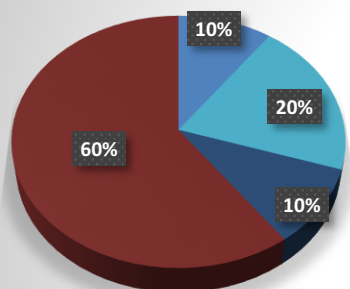
■問４－Ⅰ（４）定期的に教育・保育事業を利用している理由

※複数選択



■問４－１（５）利用していない理由

利用していない理由



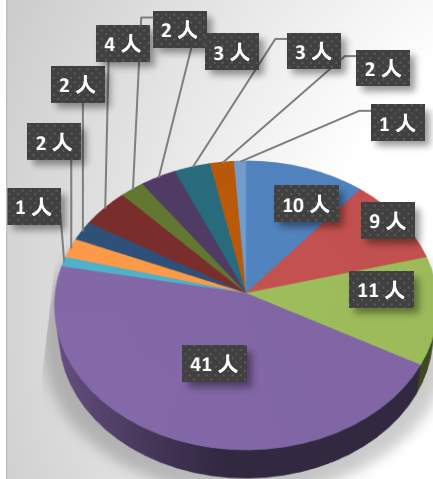
- 1. 利用する必要がある(1)
- 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている(0)
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている(0)
- 4. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない(0)
- 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない(2)
- 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない(0)
- 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない(1)
- 8. 子どもが小さいため、()歳になったら利用しようと考えている(6)
- 9. その他(0)

回答者は少ないですが、5.の経済的な理由で利用できない方が20%あります。8.子の成長に応じての利用希望の方は、1歳の時が50%、3歳の時が33%という結果でした。

■問４－２ 定期的に利用したいと考える教育・保育事業

※複数選択

定期的に利用したいと考える教育・保育事業

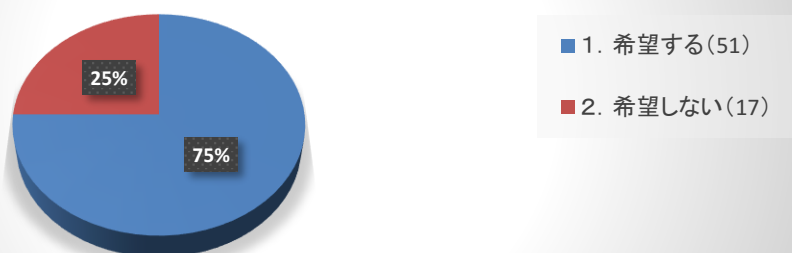


- 1. 幼稚園(通常の就園時間利用)(10)
- 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)(9)
- 3. 認可保育所(国の基準に適合し、県の認可を受けた定員20人以上のもの)(11)
- 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つもの)(41)
- 5. 小規模保育施設(国の基準に適合し、市町村の認可を受けた定員19人以下のもの)(1)
- 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)(2)
- 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)(2)
- 8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所以外の自治体が認証・認定した施設)(4)
- 9. その他の認可外の保育施設(2)
- 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)(3)
- 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)(3)
- 12. 企業主導型保育園(2)
- 13. その他(1)

現在利用している施設での利用希望に71人の回答があり、その中でも認定こども園が41人と最も高い結果となりました。ファミリー・サポート・センターの定期的な利用希望者が3人あり、定期的な利用につながっていく可能性があります。

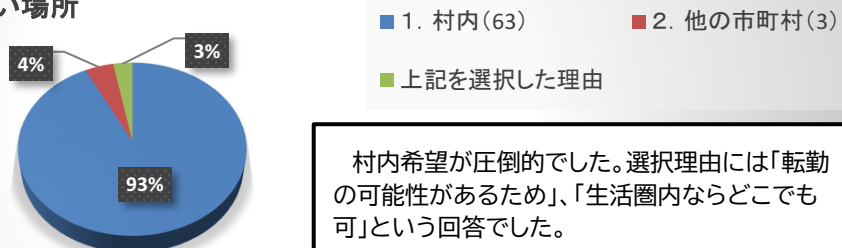
■問４－２（１）幼稚園の利用や幼児期の学校教育の利用希望

幼稚園の利用や幼児期の学校教育の利用希望



■問４－２（２）教育・保育事業を利用したい場所

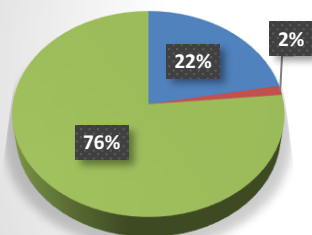
教育・保育事業を利用したい場所



5. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

■問5-1 地域の子育て支援事業の利用状況について

地域の子育て支援事業の利用状況

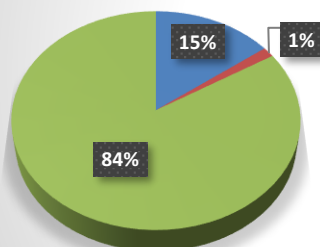


- 1. 子育て支援センター(利用回数) (15)
- 2. 村外の支援拠点事業を利用している(利用事業名) (1)
- 3. 利用していない(52)

子育て支援センター利用者が22%ありましたが、未利用者が76%と多くいました。支援センター利用者は週1、数か月に1回など、回数は様々でした。

■問5-2 5-1の地域子育て拠点事業の利用希望、回数について

地域子育て拠点事業の利用希望、回数



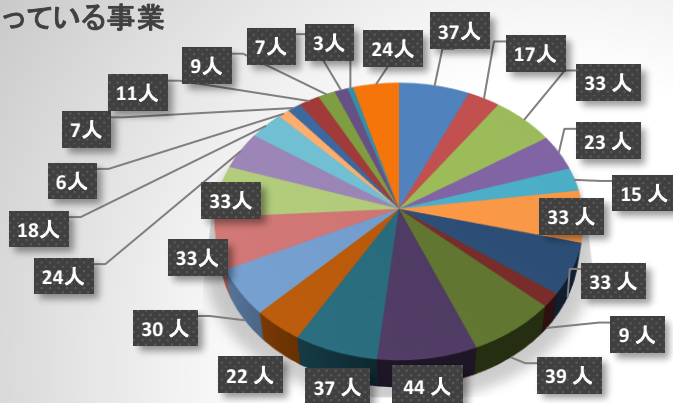
- 1. 利用していないが、今後利用したい(回数) (10)
- 2. 既に利用しているが、今後回数を増やしたい(回数) (1)
- 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない (57)

子育て支援センターの利用希望がないというより、就労等により利用ができない場合もあると推察します。また、事業の周知不足など、今後、利用促進を図る必要があります。

■問5-3 知っている事業について

※複数選択

知っている事業



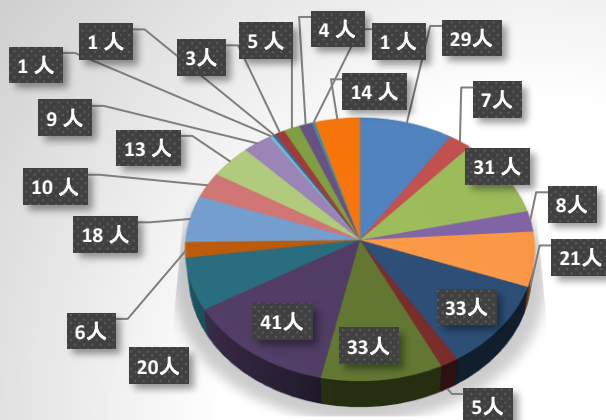
村で行うあらゆる子育て支援事業の中で、実際に子どもの年齢に身近な事業の認知度は高く、教育、就学に関する事業の認知度は低い結果となりました。

- 1. 乳幼児健診での保健師の情報提供・相談(37)
- 2. 助産師相談会(17)
- 3. 赤ちゃん訪問、びよっこ体験(33)
- 4. 産後ケア事業(23)
- 5. 産後ヘルパー事業(15)
- 6. 離乳食講習会、育児学級(33)
- 7. ブックスタート、ブックスタートプラス(33)
- 8. おしゃべり広場(9)
- 9. 歯科検診、フッ素塗布(39)
- 10. 鳥取県子育て応援パスポート(44)
- 11. とっとり子ども救急ダイヤル(37)
- 12. 不妊治療費助成(22)
- 13. 任意予防接種費用助成(30)
- 14. ファミリー・サポート・センター(33)
- 15. 子育てサークル(33)
- 16. 病児・病後児保育(24)
- 17. チャイルドシート等レンタル(18)
- 18. 在宅育児サポート(制限あり)(6)
- 19. 家庭教育相談(教育委員会)(7)
- 20. 就学相談(教育委員会)(11)
- 21. 入学支度金等支給(所得制限あり)(9)
- 22. 育児パッケージ(学用品購入費補助)(7)
- 23. 卒業祝金(教育委員会)(3)
- 24. 母子手帳アプリ「すまいるはぐ ひえづ」(24)

■問5-3（1）利用したことがある事業

※複数選択

利用したことがある事業



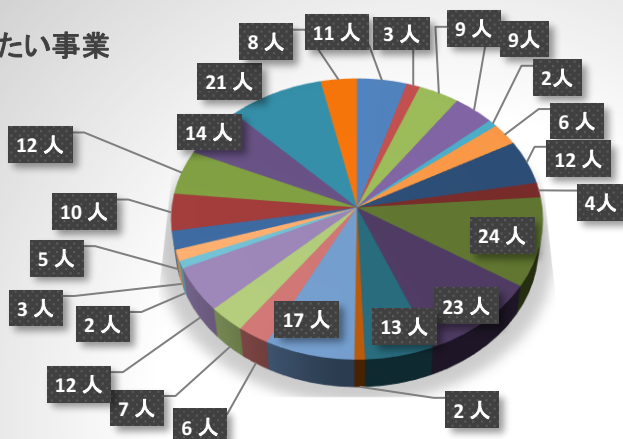
問5-3と同様に、子どもの年齢に関する事業は利用実績があり、また県の事業や健診関係なども利用実績が高い結果となりました。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 乳幼児健診での保健師の情報提供・相談(29) | 2. 助産師相談会(7) |
| 3. 赤ちゃん訪問、ぴよっこ体験(31) | 4. 産後ケア事業(8) |
| 5. 産後ヘルパー事業(0) | 6. 離乳食講習会、育児学級(21) |
| 7. ブックススタート、ブックススタートプラス(33) | 8. おしゃべり広場(5) |
| 9. 歯科検診、フッ素塗布(33) | 10. 鳥取県子育て応援パスポート(41) |
| 11. とっとり子ども救急ダイヤル(20) | 12. 不妊治療費助成(6) |
| 13. 任意予防接種費用助成(18) | 14. ファミリー・サポート・センター(10) |
| 15. 子育てサークル(13) | 16. 病児・病後児保育(9) |
| 17. チャイルドシート等レンタル(1) | 18. 在宅育児サポート(制限あり)(0) |
| 19. 家庭教育相談(教育委員会)(1) | 20. 就学相談(教育委員会)(3) |
| 21. 入学支度金等支給(所得制限あり)(5) | 22. 育児パッケージ(学用品購入費補助)(4) |
| 23. 卒業祝金(教育委員会)(1) | 24. 母子手帳アプリ「すまいるはぐ ひえづ」(14) |

■問5-3（2）今後利用したい事業

※複数選択

今後利用したい事業



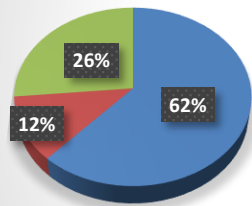
入学支度金や育児パッケージ等の給付関係事業の利用希望が高い結果となりました。子育てサークルやファミリー・サポート・センター等の利用希望もあり、今後の活動の充実につなげたいと考えます。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 乳幼児健診での保健師の情報提供・相談(11) | 2. 助産師相談会(3) |
| 3. 赤ちゃん訪問、ぴよっこ体験(9) | 4. 産後ケア事業(9) |
| 5. 産後ヘルパー事業(2) | 6. 離乳食講習会、育児学級(6) |
| 7. ブックススタート、ブックススタートプラス(12) | 8. おしゃべり広場(5) |
| 9. 歯科検診、フッ素塗布(12) | 10. 鳥取県子育て応援パスポート(1) |
| 11. とっとり子ども救急ダイヤル(13) | 12. 不妊治療費助成(2) |
| 13. 任意予防接種費用助成(17) | 14. ファミリー・サポート・センター(6) |
| 15. 子育てサークル(7) | 16. 病児・病後児保育(12) |
| 17. チャイルドシート等レンタル(2) | 18. 在宅育児サポート(制限あり)(3) |
| 19. 家庭教育相談(教育委員会)(5) | 20. 就学相談(教育委員会)(10) |
| 21. 入学支度金等支給(所得制限あり)(12) | 22. 育児パッケージ(学用品購入費補助)(14) |
| 23. 卒業祝金(教育委員会)(21) | 24. 母子手帳アプリ「すまいるはぐ ひえづ」(8) |

6. お子さんの土曜・休日や長期休みの定期的な教育・保育事業の利用希望について

■問6-1 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用について

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用

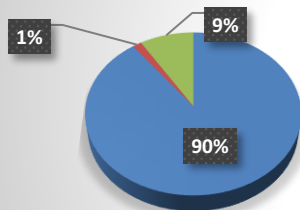


- 1. 利用する予定はない(42)
- 2. ほぼ毎週利用したい(8)
- 3. 月に1～2回は利用したい(18)

利用する予定はない方が62%と大半ですが、38%の方は土曜日の利用希望があります。

■問6-2 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用について

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用について

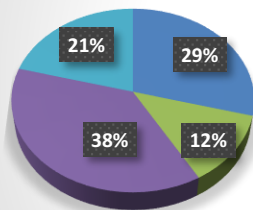


- 1. 利用する予定はない(61)
- 2. ほぼ毎週利用したい(1)
- 3. 月に1～2回は利用したい(6)

約90%は利用する予定はないと回答していますが、ほぼ毎週利用したい方もあり、就労状況によっては希望があると考えられます。

■問6-3 毎週でなく、たまに利用したい理由

毎週でなく、たまに利用したい理由

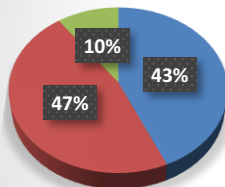


- 1. 平日の用事をまとめて済ませるため(7)
- 2. 親族の介護や手伝いが必要なため(0)
- 3. 息抜きのため(3)
- 4. その他(9)
- 未回答(5)

その他では「土曜日に仕事が入ることがあるため」と回答した方が大半で、自己都合より就労都合による利用希望という結果でした。

■問6-4 夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用（幼稚園利用者のみ）

夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用（幼稚園利用者のみ）

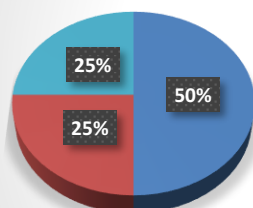


- 1. 利用する予定はない(13)
- 2. ほぼ毎週利用したい(14)
- 3. 週に数日利用したい(3)

週に数日利用したいと回答した方のうち、利用希望時間は8～16時、9～16時とほぼ一日の利用希望がありました。

■問6-4（1）毎週でなく、たまに利用したい理由

毎週でなくたまに利用したい理由

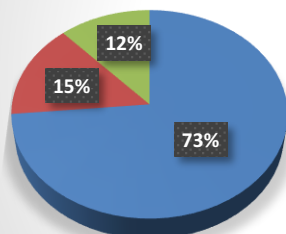


- 1. 週に数回仕事が入るため(2)
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため(1)
- 3. 親等、親戚の介護や手伝いが必要なため(0)
- 4. 息抜きのため(0)
- 5. その他(1)

7. お子さんの病気の際の対応について

■問7-1 お子さんの病気やケガによる事業の通常利用の有無について

お子さんの病気やケガによる事業の通常利用の有無

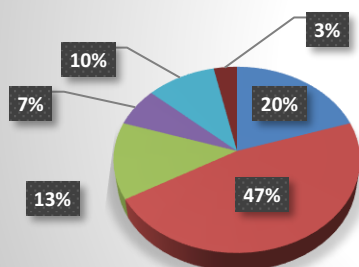


- 1. 利用できない日があった(50)
- 2. 利用できない日はなかった(10)
- 未回答(8)

週利用できない日があった方は全体の約73%を占め、対応に困る家庭がある結果となりました。

■問7-1 (1) お子さんの病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できない場合の1年間の対処法

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できない場合の1年間の対処法

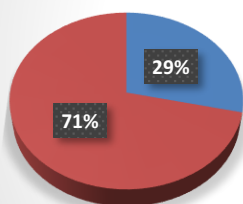


- ア. 父親が休んだ(12)
- イ. 母親が休んだ(28)
- ウ. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった(8)
- エ. 父、母のうち就労していない方が子どもをみた(4)
- オ. 病児・病後児保育を利用した(8)
- カ. ベビーシッターを利用した(0)
- キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた(0)
- ク. その他(2)

病児保育利用は全体の10%にとどまり、両親や同居親族が休まなければならない状況が約87%となりました。

■問7-1 (2) 両親が休んだ方のうち、病児・病後児のための保育施設利用希望について

病児・病後児のための保育施設の利用希望

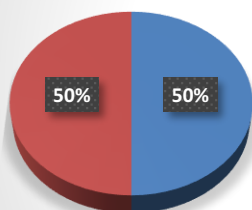


- 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい(6)
- 2. 利用したいと思わない(15)

病児・病後児保育施設等の利用希望は約29%で、利用したいと思わない方が71%となりました。事業の周知や、経済的支援などの対応が求められるかもしれません。

■問7-1 (3) 病児・病後児保育施設の利用形態について(問7-1 (2) で利用したいと回答された方のみ)

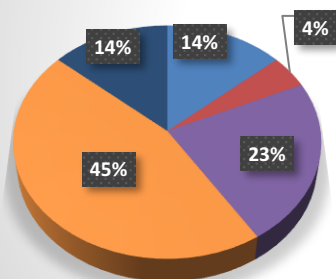
病児・病後児保育施設の事業形態



- 1. 他の施設(幼稚園、保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業(3)
- 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業(3)
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)(0)
- 4. その他(0)

■問 7-1 (4) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由
(問 7-1 (2) で利用したいと思わないと回答された方のみ)

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

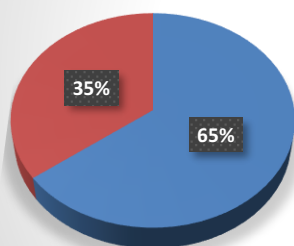


- 1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安(3)
- 2. 地域の事業の質に不安がある(1)
- 3. 利便性(立地や利用可能時間日数等)が良くない(0)
- 4. 利用料がかかる・高い(5)
- 5. 利用料が分からない(0)
- 6. 親が仕事を休んで対応する(10)
- 7. その他(3)

経済的理由に23%となり、利用促進に向けた支援施策も検討が必要と考えます。

■問 7-1 (5) 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対応
(問 7-1 (1) でウ〜クを回答された方のみ)

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対応

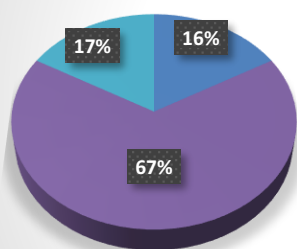


- 1. できれば仕事を休んでみたい(日数)(11)
- 2. 休んでみることは非常に難しい(6)

仕事を休んでみたい人のうち、休める日数は数日、2日、5日、7日、10日、20日、通えるようになるまで、と様々あり、就労状況により異なると考えられます。

■問 7-1 (6) 休んでみるのが難しい理由
(問 7-1 (5) で休んでみることは非常に難しいと回答した方のみ)

休んでみるのが難しい理由



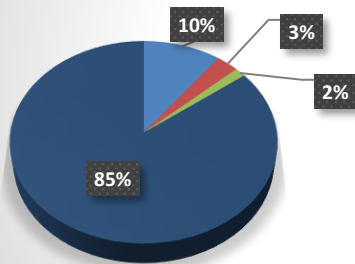
- 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない(1)
- 2. 自営業なので休めない(0)
- 3. 休暇日数が足りないため休めない(0)
- 4. その他(4)
- 未回答

その他の回答のうち、休みをとりにくい職場環境であると回答した人がほとんどでした。

8. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

■問 8-1 私用や親の通院、不定期就労等により不定期的に利用している事業

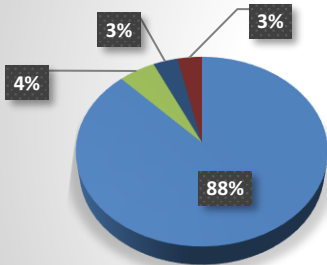
私用や親の通院、不定期就労等により不定期的に利用している事業



- 1. 一時預かり(7)
- 2. 幼稚園の預かり保育(2)
- 3. ファミリー・サポート・センター(1)
- 4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ(0)
- 5. ベビーシッター(0)
- 6. その他(0)
- 7. 利用しない(58)

■問 8-1 (1) 現在利用していない理由 (問 8-1 で利用していないと回答した方のみ)

現在利用していない理由

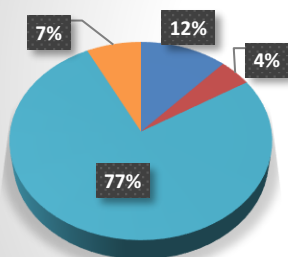


- 1. 特に利用する必要がない(51)
- 2. 利用したい事業が地域にない(0)
- 3. 地域の事業の質に不安がある(3)
- 4. 地域の事業の利便性が良くない(0)
- 5. 利用料がかかる・高い(0)
- 6. 利用料がわからない(0)
- 7. 自分が事業の対象者か分からない(2)
- 8. 利用方法(手続き等)が分からない(2)
- 9. その他(0)

利用方法や対象が不明といった意見もあり制度の周知が必要です。

■問 8-2 私用や親の通院、不定期就労等による利用希望の有無及び日数

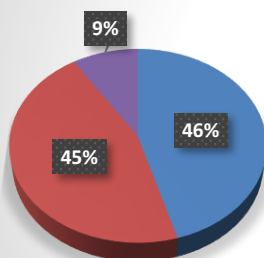
私用、親の通院、不定期就労等による希望の有無及び日数



- 1. ア 私用、リフレッシュ目的で利用したい(8)
- 1. イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい(3)
- 1. ウ 不定期就労のため利用したい(0)
- 1. エ その他(理由及び日数)(0)
- 2. 利用する必要はない(52)

■問 8-2 (1) 望ましい事業形態 (問 8-2 でア〜クを回答された方のみ)

望ましい事業形態

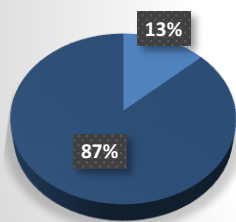


- 1. 大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園、保育所等)(5)
- 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(地域子育て拠点事業等)(5)
- 3. 地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)(0)
- 4. その他(1)

その他では「子どもが通園している施設」と回答した方がいました。

■問 8-3 保護者の用事による泊りがけで家族以外に見てもらった事例

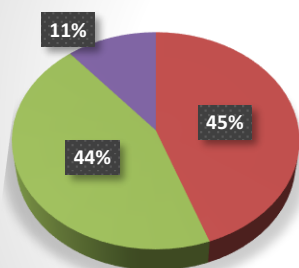
保護者の用事による泊りがけで家族以外に見てもらった事例



- 1. ア (同居者を含む)親族・友人にみてもらったことがあった(9)
- 1. イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい(0)
- 1. ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用したことがあった(0)
- 1. エ 仕方なく子どもを同行させた(0)
- 1. オ 仕方なく子どもを留守番させた(0)
- 1. カ その他(0)
- 2. なかった(59)

■問 8-3 (1) 困難度 (問 8-3 で 1. アを回答された方のみ)

困難度

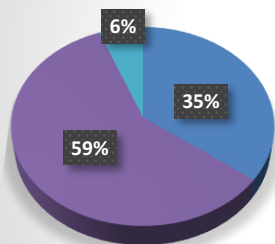


- 1. 非常に困難(0)
- 2. どちらかという困難(4)
- 3. 特に困難ではない(4)
- 未回答(1)

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方（年長児のみ）

■問9-1 小学校低学年のうち放課後の過ごし方

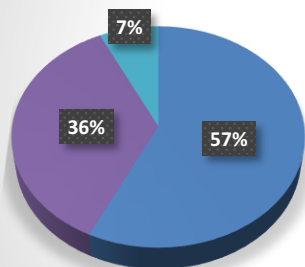
小学校低学年のうち放課後の過ごし方



- 1. 自宅(6)
- 2. 祖父母宅や友人・知人宅(0)
- 3. 習い事(ピアノ、水泳、塾等)(0)
- 4. 児童館・放課後児童クラブ(学童保育)(10)
- 5. スポーツ少年団・クラブ(1)
- 6. ファミリー・サポート・センター(0)
- 7. その他(公民館、公園等)(0)

■問9-2 小学校高学年のうち放課後の過ごし方

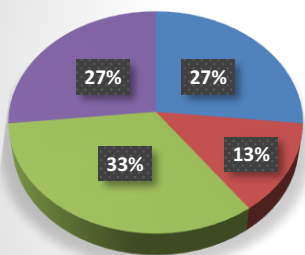
小学校高学年のうち放課後の過ごし方



- 1. 自宅(8)
- 2. 祖父母宅や友人・知人宅(0)
- 3. 習い事(ピアノ、水泳、塾等)(0)
- 4. 児童館・放課後児童クラブ(学童保育)(5)
- 5. スポーツ少年団・クラブ(1)
- 6. ファミリー・サポート・センター(0)
- 7. その他(公民館、公園等)(0)

■問9-3 (1) 土曜日の児童館・放課後児童クラブの利用希望 (問9-1・2で4を回答された方のみ)

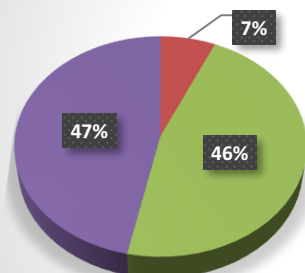
土曜日の児童館・放課後児童クラブの利用希望



- 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい(4)
- 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい(2)
- 3. 利用する必要はない(5)
- 4. 未回答(4)

■問9-3 (2) 日・祝日の児童館・放課後児童クラブの利用希望 (問9-1・2で4を回答された方のみ)

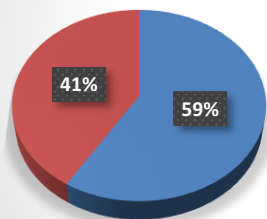
日・祝日の児童館・放課後児童クラブの利用希望



- 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい(0)
- 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい(1)
- 3. 利用する必要はない(7)
- 4. 未回答(7)

■問 9-4 夏休み・冬休みなどの長期休暇中の児童館・放課後児童クラブの利用希望

夏休み・冬休みなどの長期休暇中の
児童館・放課後児童クラブの利用希望



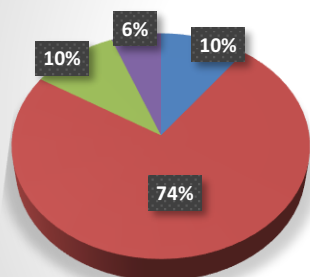
- 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい(10)
- 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい(7)
- 3. 利用する必要はない(0)

利用希望のうち、終わりはばらつきがあるが、開始は8時からの希望が大半で、最も早い人は7時30分と回答した方がおられました。

I 0. 育児休業や短時間勤務など職場の両立支援制度について

■問 I 0-1 両親の育児休業の取得状況と未取得理由

両親の育児休業の取得状況と未取得理由

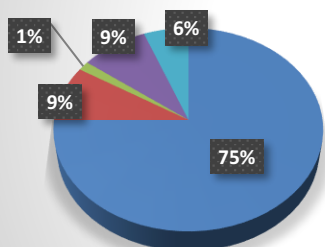


- 1. 働いていなかった(7)
- 2. 取得した(取得中である)(50)
- 3. 取得していない理由(7)
- 未回答(4)

74%が育児休業を取得しています。取得していない理由には、「育児休暇を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しい」「制度がない」という方が多くいました。

■問 I 0-1 (1) 健康保険及び厚生年金保険の保険料が減免になる仕組みについて

健康保険及び厚生年金の保険料が減免になる仕組みについて

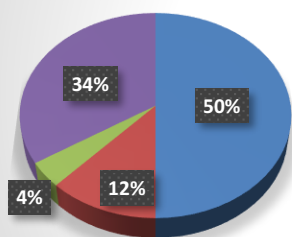


- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた(51)
- 2. 育児休業給付のみ知っていた(6)
- 3. 保険料免除のみ知っていた(1)
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった(6)
- 未回答(4)

制度について約2割が知らない結果になっています。制度の周知が必要です。

■問 I 0-1 (2) 育児休業後の状況について(問 I 0-1 で2. 取得した(取得中である)と回答した方のみ)

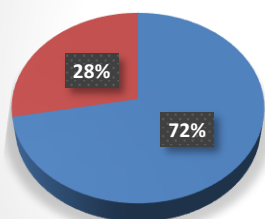
育児休業後の状況



- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した(25)
- 2. 現在も育児休業中である(6)
- 3. 育児休業中に離職した(2)
- 未回答(17)

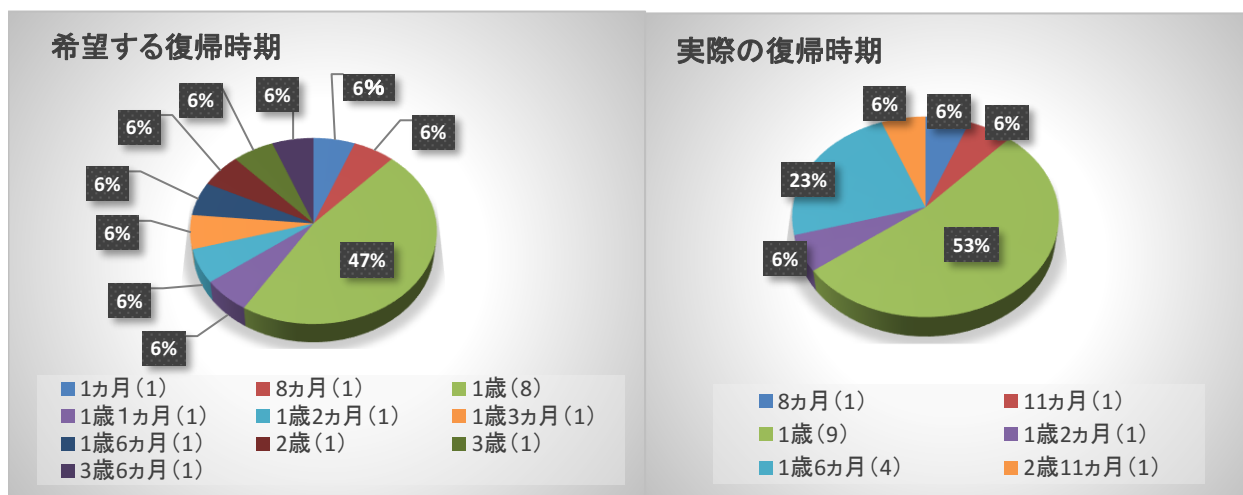
■問 I 0-1 (3) 育児休業から復帰したタイミングについて(問 I 0-1 (2) で1. 育児休業後、職場に復帰したと回答した方のみ)

育児休業から復帰したタイミング

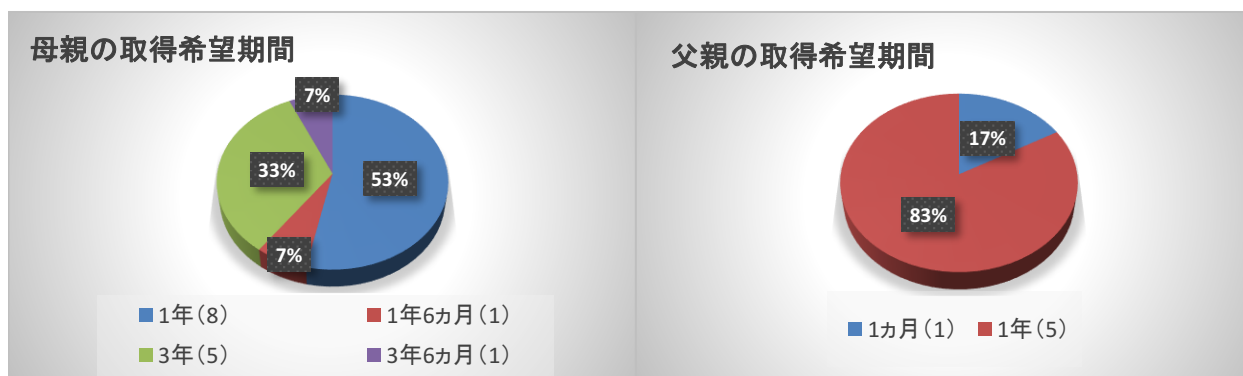


- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミング(18)
- 2. それ以外(7)

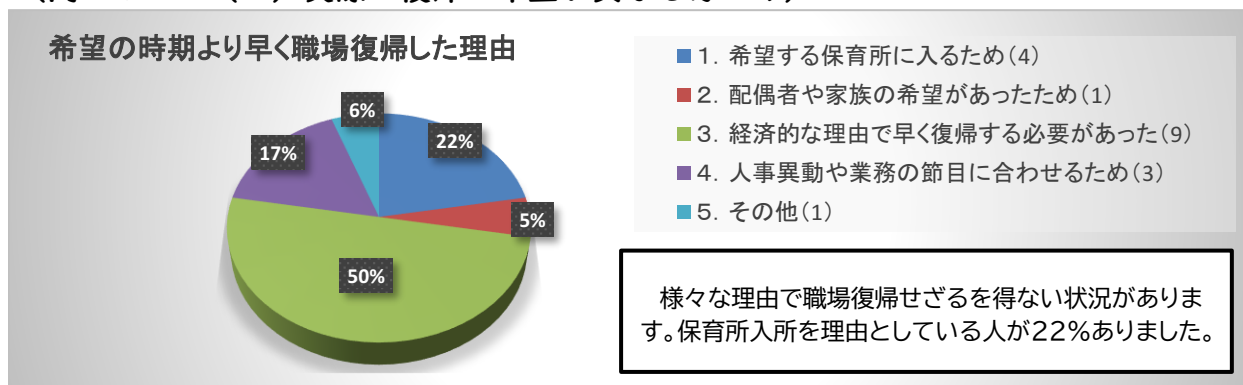
■問10-1（4）実際に復帰した時の子どもの年齢と希望取得期間について



■問10-1（5）勤務先で3年間の育休制度があった場合の希望取得期間について

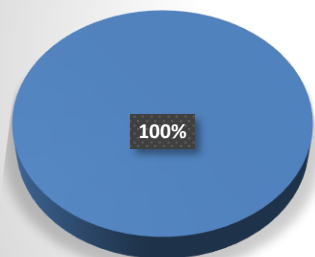


■問10-1（6）希望の時期より早く職場復帰した理由 （問10-1（4）実際の復帰と希望が異なる方のみ）



■問10-1 (7) 希望の時期より遅く職場復帰した理由
(問10-1 (4) 実際の復帰と希望が異なる方のみ)

希望の時期より遅く職場復帰した理由

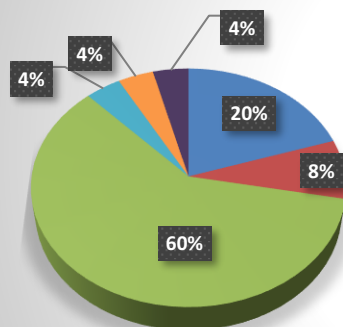


- 1. 希望する保育所に入れなかったため(4)
- 2. 配偶者や家族の希望があったため(0)
- 3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため(0)
- 4. 職場の受入れ体制が整っていなかったため(0)
- 5. 子どもをみってくれる人がいなかったため(0)
- 6. その他(0)

良いタイミングで保育所に入所できないと、職場復帰を遅らせなければならない状況にあります。

■問10-1 (8) 短時間勤務制度の利用について
(問10-1 (2) 1. 育児休暇取得後、復帰したと回答した方のみ)

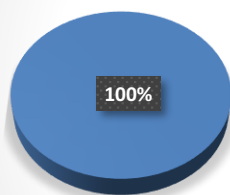
短時間勤務制度の利用について



- 1. 職場に短時間勤務を取りにくい雰囲気があった(5)
- 2. 仕事が忙しかった(2)
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額される(15)
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる(0)
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した(1)
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族など子どもをみってくれる人がいた(1)
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した(0)
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)(0)

■問10-1 (9) 育児休業の取得期間について
(問10-1 (2) 2. 現在も育児休業中であると回答した方のみ)

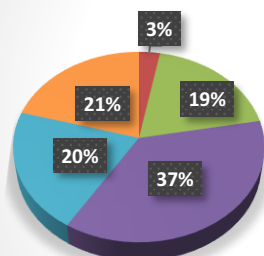
育児休業の取得期間



- 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい(6)
- 2. 1歳になる前に復帰したい(0)

■問10-2 日吉津村の子育て環境や支援への満足度 (1 満足度が低い → 5 満足度が高い)

日吉津村の子育て環境や支援への満足度

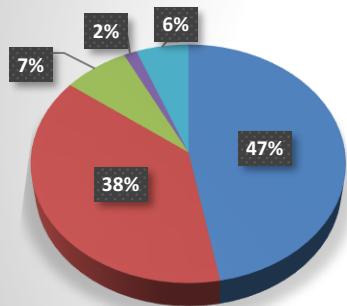


- 満足度1(0)
- 満足度2(2)
- 満足度3(13)
- 満足度4(25)
- 満足度5(14)
- 未回答(14)

満足度4・5の方が57%を占め、ある程度環境や支援施策に満足しています。中間層をいかに高めていけるかが課題となっています。

■問 10-3 ひえづこども園での特色ある保育の希望について

ひえづこども園での特色ある保育の希望



- 1. 体力づくりに力を入れて欲しい(32)
- 2. 小学校との連携を強めて欲しい(26)
- 3. 異年齢保育に力を入れて欲しい(5)
- 4. その他(1)
- 未回答(4)

こども園として、今後の保育の参考になる結果となりました。希望のある分野を伸ばす施策を進めていく必要があります。

■問 10-4 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見

・育休中に収入が低下するのが無くなれば良いと感じる。そうすればもう少し余裕が生まれ、子どもたちと関われる時間が増えると思う。

・子育て、教育をしているの不安を聞いてくれる、寄り添ってくれる、アドバイスをくれる人がいると助かる。今は保育園の先生がそうしてくれるので助かる。

・子育てで時間がない中で、このようなわかりにくく、長く、時間がかかるアンケートはやめてほしい。

・村内に公園や室内遊具のある施設をつくってほしい。

・いろいろな体験をさせてもらう機会があることや、助成が多いことはありがたいと思います。しかし、こども園の園舎の新築および改装で、長時間、外の活動が制限されています。子どもを増やす政策をとっているのであれば、それを見越した対応を求めたいです。園庭が狭くなり、お気に入りの遊具もなくなり、子どもが悲しい思いをしています。予算も余計にかかっています。子どものために無駄なお金を使ってもらいたいです。

・人口が増えており、子どもの数も増えていると思います。こども園の増築は良いと思いますが、児童館はどうでしょう？ 受入れる体制の整備が求められていると思います。

・日吉津村は子育てに関して、周りの自治体よりも優れていると思っております。私たち夫婦も村外から移住した者ですが、非常に助かっております。職場の同僚で、戸建てを検討している人にも、移住を進められるほどです。引き続き、手厚い子育て支援と教育支援をお願いいたします。

・毎日楽しみに子供たちが登園しています。アンケート途中にも回答しましたが、職業柄、子供の病気で仕事を休むことが難しく、大抵病児保育を利用しています。村内で病児保育を利用できる環境を作ってもらえたり、利用料の補助をしていただくと助かります。

・二子以上の育児を行うには特に行政の支援が必要であると痛感しています。現実には厳しいかもしれませんが、就労の有無に関わらず、保育施設入所希望者が漏れなく利用できるようになってほしいです。

・0歳から就学まで、転園なく同じ園でみてもらえるようになったら嬉しい。育休を一年とる為に、一歳になったタイミングで保育園に入れるようにしてほしい。子育てに関わる金銭面での援助があるとありがたい。

・暑い日や天候不良時などでも遊べる場所があると嬉しい。

・子育ての機関が隣接しているので、送り迎えするときにとっても助かります。

・仕事の休みがとれにくいので、病児保育の利用年齢を米子市と同じように小6年までにしたい。

・保育施設に入所したい人が困ることなく入所出来る環境になればいいなと思います。

・このアンケートへの回答をスマートフォンでしようとする、文字がとても細かく入力も大変でストレスを感じた。そのためいったん回答を諦めた。設問の対象者や内容の把握が難しく、きちんと回答しようとするかなり時間がかかってしまった。夫婦で回答していたが、片方が育休中の場合などパートナー間で差がある場合の回答方法が分からなかった。意味がわからないところは飛ばすことにした。基本選択式にしたり選択項目を減らしてもらえなど、もう少し回答しやすいとうれしい。このようなアンケートをとっていただけること自体はありがたい。

・日吉津の子どもたちが休日に集う屋内の場所、公園などがあればいいなと思う。いつも屋内となると米子児童文化センターに行っていて、日吉津にもそんな場所があればもっと親子で交流できるのではないかなと思う。例えば、小学校体育館やトレセン、社協の2階フロアなどを開放してもらえたり。何かそういう場があれば。低学年で、児童館は制限なく通えるので、とても助かります。

・1歳で職場復帰を目指しているのに、村内の保育施設の入れないと言われる問題をどうにかしてほしい。米子の認可でない施設もありますと言われても、村内に住んでいるのに、待機児童になるのではないかなと思う。支援センターで行われる行事が、行かないと分からないというのを改善してほしい。この問いとは別件ですが、このアンケートが長すぎるのと、分かりにくい。

・子供にとって思えば深い年長1年間の半分以上を工事をしていてとても残念です。こども園になることがわかっていて計画的に園を建設できなかったのかと不信感でした。小学校入学のための2クラス編成と説明がありましたが、小学校入学が1番近いはずの年長が4月から10月まで1クラスなのは納得できませんでした。子供の成長はあっという間なので今みんなで過ごせる一瞬ずつがかけがえのないものだと思います。今後も増築が続かないように見通しをたてた計画をしてください。日々関わってくださっている先生方は熱心で優しくて子供もとても喜んでいて感謝しています。このアンケートも時間をかけて答えても何度もエラーで送信できず、ストレスがすごいです。村民の意見を聞きたいと思っているように感じられず、形式的なもので、ここでの意見は何にも反映されないかもしれないと思いました。

・河川敷に散歩コースのような広場があるが、トイレも遠く、汚いので、せめて洋式にしてほしい。飲料水が使える場所もなく、子どもを連れていきにくい。

・村内に公園がなく、小学校に行くか、児童館の遊具で遊ぶくらい。子連れで遊びに行けるような公園が欲しい。

アンケートについて

概要

第三期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、幼児期の教育、保育及び子育て支援事業についての利用状況及び利用希望者をはあくするために実施するもの

調査対象

令和6年7月1日現在において、村内に在住のうち0歳から年長児の児童を養育する世帯166世帯

調査日時

令和6年8月8日～9月30日

調査方法

Webアンケート及び紙面アンケート(希望者なし)

回収率

対象者数:166

回答数:68

回答率:41%